

日本の未来企業

Vol.39

次の百年を創る

経験と人脈

「もっと広い世界で社会の役に立つ人生を送りたい」。法人向け翻訳サービスを提供するエイアンドピープルの浅井満知子はこの思いに突き動かされ、人生を変えた。浅井は幼い頃から母の『女は結婚して子供を産むのが幸せ』という価値観に反発を覚えていた。「手に職をつけて一生働きたい」と考え、高校卒業後に国家資格を取得。20歳で歯科技工士になつた。しかし職場と家を往復するだけの人生に疑問を感じようになる。26歳で一念発起し、システム開発会社に転職。社内初の女性営業社員だった。営業のノウハウを一から学んだ。経験と人脈が生き、転職した翻訳会社では半年で営業成績1位を獲得した」と話す。

翻訳会社起業

1998年に創業。「会社員時代はローンで家が買えたが、起業するとコピー機のリース契約

エイアンドピープル

社長

浅井 満知子 氏



女性が輝く社会実現に奮闘



化粧品「MACHIKO」シリーズの出産後の肌トラブルという自身の経験からだ。「忙しい女性たちが自分らしく輝くことが基本概念。余計な手間や時間をかけずに使える『時短美容』化粧品という。浅井は化粧品販売をダイバーシティと女性活用促進にもつなげる。愛用者を中心に声を掛け、交流を深める。『輝く女性たちの晩餐会』を主催する。全く異なる価値観が出会える場を提供する異業種交流会

「人件費の安い新興国に価格競争で勝つのは難しい。高付加価値製品を生み出すため、イノベーションを起こす必要がある。同じ業界、同じ考えの人との交流は居心地がいいが、画期的なアイデアは出ない」と話す。「働ける時に働いて成果を出せば、妊娠、出産に左右されずに働き続けられる」と浅井。女性が生き生きと働ける社会を目指し、縦横無尽の活躍をみせる。

(敬称略、南東京・門脇花梨)

企業プロフィール

すら断られた。独身女性経営者の信用の低さを思いついた。同じ思いをしっている女性のためにも結果を出して信用を築こうと決意した」と振り返る。奮闘が実を結び、現在は全日本空輸をはじめとした大手企業の翻訳業務を担当する。内容は投

資家向け広報（IR）書類やマーケティング資料、マニュアルの翻訳などさまさま。仕事の幅は広がり続ける。浅井は自然でわかりやすい英文に訳すプレイン・イングリッシュを普及させる活動にも取り組む。日本IR協議会と共

化粧品販売も13年からは化粧品「MACHIKO」を販売すだ。

▽代表 浅井満知子氏
住所 東京都渋谷区恵比寿西1-3-10
資本金 3000万円
設立 98年（平10）10月